



帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（CS）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育てていく取組みです。

## 第七中学校区CS協議会の取組みをご紹介します

帯広第七中学校区（第七中・大正小・愛国小）では、5月13日に本年度1回目の会議を開催し、委員長には中谷委員、副委員長には愛国小PTA会長の土田委員、大正小PTA会長の道端委員、第七中PTA会長の岸塚委員を選出しました。

会議では、昨年度末の会議において承認された各学校の学校経営方針のほか、CS協議会において目指す子ども像である「ふるさとの功しを引継ぎ、自らの未来を切り拓く子ども」



学校運営方針説明の様子

について説明し、**第七中学校区における今年度の取組みの方向性等について**確認しました。

今年度の新たな取組みとして、各学校の教育目標の実現に向け「知・徳・体」の観点から「**学校・家庭・地域**」それぞれの取組みを示す**アクションプランの作成**を進めることとしたほか、当協議会は3校合同であることから、それぞれの学校の取組みについて情報共有することの必要性について意見があり、七中校区CS通信の発行を検討することとしました。



苗植えの様子

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、各学校の教育活動に一定の制限がありましたが、今年度は、**感染症対策をしつつ、可能な範囲で地域も学校の行事**

**等に参加することを確認し、ハロウィンカボチャの苗植えやPTA環境整備などを実施しています。**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人と人との関わりにおいては「密」を避けつつ、**3校合同のCS協議会という特徴**を活かし、これまで以上に各学校と地域が一体となった取組みを進めたいと考えています。

第七中学校 校長 堂山 貴也

## 緑丘小学校CS協議会の取組みをご紹介します

本年度1回目の会議は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が延長されたことから、6月初旬に**書面にて会議を開催**しました。



今年度も会長には、よんかけサポーターズクラブコーディネーターで緑丘小地区生涯学習推進委員長の保前委員を、副会長に中央エリア児童保育センター所長の下森委員を選出しました。



会議の様子（令和2年度）

書面には、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る学校の取組みのほか、昨年度までの熟議を経て設定した**目指す子ども像**、また令和3年度の学校経営の

スローガンである『開校70周年の節目を迎え、チームで創る「活気」と「潤い」のある学校!』について、具体的な方策などを示し、**重点項目についての共通理解**を図りました。

**各委員の意見については、記入用紙を同封し郵送による提出**としました。その結果、学校経営方針について承認されたほか、



「ICT教育における専門員の配置」や「コロナの状況下における教育活動の推進」などの意見が出されました。**提出された意見をまとめ、あらためて各委員へ配付し、CS協議会において共有**しました。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、地域と連携した多くの活動が中止または縮小されていますが、感染防止対策を実施しつつ、子ども達の学びと育ちを支えるため、活動再開に向けた準備を進めていきます。

緑丘小学校 校長 澤田 靖

裏面に続きます

## 八千代中学校区CS協議会の取組みをご紹介します

八千代中学校区（八千代中・広野小）では、6月30日に本年度第1回目の会議を開催しました。

昨年度に引き続き、委員長には広野小PTA会長の合歓垣委員、副会長には八千代中PTA会長の堀委員、また、地域コーディネーターとして生涯学習推進協議会委員長の増田委員を選出しました。

会議では、初めに、八広地区で進めるCSの趣旨、目指す子ども像、令和3年度学校運営方針（昨年度の会議にて承認済）について



学校運営方針説明の様子

説明があり、次に、いじめに関する定義や考え方の変化など、複雑化する問題に対し、地域全体として連携し対応するため、**これまで各学校で定めていた方針を統一した「八広いじめ防止基本方針」**を策定することについて提案があり、協議会において確認しました。



グループ協議の様子

その後、3つのグループに分かれ、コロナ禍において子どもたちをどのように育てていくかをテーマに「学校の役割」「家庭の役割」「地域の役割」「今後の行事について」のそれぞれについて意見を出し合い、グループごとに発表を行いました。

発表では「**新型コロナウイルスの感染拡大防止策が求められる特殊な状況においてこそ、新しい時代を生き抜く力の育成が大切**」などの意見が出されました。



グループ発表の様子

CSは、会議で話し合うだけでなく、話し合った内容を家庭や地域へ周知することが大切と考えているため「**はっこうCSだより**」を作成し、周知に努めています。

今年度は11月に今後の行事のあり方等について、来年2月に令和4年度の学校運営方針について協議する予定です。

八千代中学校 校長 嶋 健

## コミュニティ・スクール導入校が拡大します

帯広市では、これまでに市内12の小中学校で、コミュニティ・スクールを導入しています。令和3年10月からの導入予定校は次の17校です。

- |              |        |        |
|--------------|--------|--------|
| ○帯広小学校       | ○西小学校  | ○明星小学校 |
| ○北栄小学校       | ○東小学校  | ○啓西小学校 |
| ○豊成小学校       | ○若葉小学校 | ○花園小学校 |
| ○開西小学校       | ○第一中学校 | ○第二中学校 |
| ○第五中学校       | ○翔陽中学校 | ○南商業高校 |
| ○川西中学校・川西小学校 |        |        |



ご意見・ご質問などありましたら、下記までお問合せください。（担当：清水）

## 地域の子もたちの笑顔と一緒に見守りませんか？ （放課後子ども広場のボランティアスタッフを募集しています）

子どもたちの社会性や自主性を育むため、地域ボランティアやNPO法人が、放課後や休日に小学校の体育館などを活用して、子どもたちに様々な体験・活動ができる機会を提供しています。

**一緒に活動するボランティアスタッフを募集しています。**月1回など、可能な範囲で構いませんので、ご検討いただける方は、下記までお問合せください。（担当：阿部）



### あとがき

「すでに、学校・家庭・地域が協力して活動しているのに、コミュニティ・スクールって必要なの？」と考える方がいらっしゃると思います。

市内の各学校においては、図書ボランティアや放課後子ども広場など、家庭や地域と連携した様々な「活動」が行われています。

これらの「活動」とは別に、家庭、地域、各団体の関係者などが、それぞれの知見を活かして、学校運営全般に関し幅広く「協議」する体制を整えていることが、コミュニティ・スクールの特徴です。

このことは、帯広市コミュニティ・スクールのホームページ内にあります「帯広市コミュニティ・スクール～未来を拓く子どもをともに育む～」で詳しく説明しています。ぜひ、ご覧いただけますようお願いいたします。

（担当：清水）

### 【お問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課

TEL：0155-65-4162

Email：school\_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索

令和3年9月1日発行

